



平成 26 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 取締役社長 大川 伸
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 経理財務担当 福羅 喜代志
(TEL : 03 - 3257 - 5022)

固定資産減損による特別損失の計上および連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、平成 26 年 3 月期に特別損失を計上することを決議いたしました。
また、この決議による影響と最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 3 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期の業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の概要

当社は、衣料事業において中国に連結子会社を設立して製造拠点を設け、衣料用原料および衣料製品の製造加工を行っております。中国が製造拠点としてのみならず市場としても魅力を増すなか、品質を重視して事業を続けてまいりましたが、原材料や労務費の高騰など厳しい事業環境が続いております。

今後の事業環境を鑑み、現状では直ちに収益性の改善を図ることは困難であり投下資本の回収は難しいことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて 12 億 38 百万円の固定資産の減損損失を計上することといたしました。

2. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	26,200	△ 350	150	△ 440	△ 12.97
今回修正予想 (B)	26,024	△ 531	△ 48	△ 1,817	△ 53.55
増減額 (B-A)	△ 176	△ 181	△ 198	△ 1,377	
増減率 (%)	△ 0.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	27,663	705	1,075	362	10.68

修正の理由

衣料事業の株式会社ニューヨーカーを中心とした衣料品小売部門において、売上高が計画に届かなかったことや値引き販売の増加などにより、営業利益・経常利益は前回発表予想を下回る見込みです。

前述の減損損失を特別損失として計上する影響により、当期純利益は 1,817 百万円の損失となる見込みです。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上